

ESA の空の From: アドレス ブロックの設定例

目次

[はじめに](#)

[背景説明](#)

[設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco E メール セキュリティ アプライアンス (ESA) に対し AsyncOS で空白の From: アドレスのブロックを設定する方法を説明します。

背景説明

空白の From: アドレスは、さまざまな解釈が可能です。電子メール メッセージには、エンベロープアドレスと、メッセージ ヘッダーのアドレスの両方が設定されています。エンベロープアドレスは、メッセージの受信時に Simple Mail Transfer Protocol (SMTP) カンバセーションで作成されます。SMTP は、非 Null の envelope-from アドレスを必要とします。したがって、envelope-from アドレスが空白であるメッセージを受信することはできません。envelope-from アドレス <> は、メーラーがバウンス メッセージを送信するときに特別に使用する特殊なアドレスです。これは、受信側メーラーに対し、バウンスをそのアドレスに送信できないことを通知します。メールのループを防止するために使用されます。

メッセージ ヘッダー (From: ヘッダーを含む) はすべて、メッセージ コンテンツの一部として見なされるため、エンベロープアドレスに一致している必要はありません。これは、リストメールにより効果的に使用されます。たとえば、長い受信者リストがコンテンツの From: ヘッダーに含まれないが、リスト返信先アドレスが代わりに指定されることがよくあります。これは、メッセージの送信者について受信者を誤解させるためにスパムやウイルスでも使用されます。

メッセージの中には、From: 行がないメッセージや、空白の From: 行があるメッセージがあります。空白の From: 行を持つメッセージをスパムの可能性ありとしてドロップすることが適切であるように思われますが、スパム キャプチャ率の向上にはほとんど役立たず、かえって誤検出が増加する可能性がある点に注意してください。アプリケーションにより生成されるメール、ニュースレター、およびバウンスの多くは、空白の From: アドレスを含んでいる可能性があり、ほとんどのスパムでは偽の From: フィールドの URL のみが置換されます。

設定

メッセージ ヘッダーに **From:** がないメッセージ、または 空白の **From:** ヘッダーが含まれるメッセージをドロップする メッセージフィルタを次に示します。このフィルタは、**From:** ヘッダーがない場合、または ヘッダーにヌル値が含まれている場合に true と評価します。メッセージ フィルタをインストールするには、CLI で filters コマンドを使用します。

```
block_null_from_headers: if (NOT header("From")) {  
drop();  
}
```

From: <> コンテンツ ヘッダーを持つメッセージをドロップするフィルタを次に示します。

```
block_null_bounce_headers: if (header("From") == "^$") {  
drop();  
}
```

確認

このセクションでは、設定が正常に機能していることを確認します。

ポート 25 で Telnet を使用して ESA に接続し、2 つのテスト メッセージを送信します。1 つのメッセージには **From:** ヘッダーは含まれておらず、もう 1 つのメッセージには空の **From:** メッセージフィルタを次に示します。

トラブルシューティング

現在のところ、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。

関連情報

- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)